

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

保育現場で何が不足しているか

町田市は待機児ゼロを目標し、市内全域で民間保育所の新設・増設を支援して、現実とその目標は徐々に達成しつつあります。

しかし、ここに来て市内全域で待機児童が増大する傾向でなく、ところによっては保育所に園児の欠員が生じる場所が発生しているのではないかと決算特別委員会で尋ねました。行政の答弁では地域によって、園児の欠員が生じていること、2 歳児以降にその傾向が見られるとのことでした。今後、ゼロ歳児等の低年齢児を弾力的に受け入れることで対策としていきたいとのことでした。ただし、年齢によって、ゼロ歳児では 3 人に 1 人、1 歳児では 5 人に 1 人、2 歳児では 6 人に 1 人、3 歳児では 20 人に 1 人、4 歳児では 30 人に 1 人の保育士の確保が義務付けられており、保育士の確保が新たな課題となっていることが明らかになりました。

首都圏では、町田市に限らずどの保育所においても、この保育士の確保が大きな課題になっており、保育所だけの努力では難しいものになっています。そこで、今回の決算特別委員会において、「保育園で保育士が十分に募集・確保できるように、近隣自治体が実施する保育士の待遇改善に対応した支援制度を比較検討し、速やかな実施を図りたい」と提案し、全員の賛同を得ました。また、「民間等保育所運営事業について、保育園で園児の欠員が生じる新たな状況を考慮し、十分な対応策を講じるように図りたい」と提起しましたが、こちらは自民党を除く全会派委員の賛同を得て多数意見になりました。結果、私の二つの提案は、決算認定に関して、付記意見として委員長より本会議に報告されました。

交通事故の現状と安全教育の方法

決算特別委員会において、「交通安全啓発イベントに関して、交通安全協会の地区支部の配置に応じ、住民が参加しやすい形態で警察・安協・市が一体になったものを行われる様に図りたい」と提案し、全員の賛同を得て、決算認定の付記意見になりました。

決算関係書類によると、町田市内の人身交通事故は減少傾向にありましたが、詳細を尋ねると、重大事故では増加が見られました。特に、自転車の運行に関してルール無視が著しく、それによる事故発生が心配でした。交通安全協会の補助金が減少していること、あるいは今の交通安全イベント（市民ホールで講演会の開催、自動車練習場でバイク運転の講習）の参加者が減少しているとのことでしたので、その打開策を提起したものです。より身近な地域で交通安全の取組が必要であると提案しました。



元研修生・渡辺梨菜さん(第 34 期生)が同行

秋の交通安全運動の期間中、元インターン生が同行して、町田市交通安全協会の本部や交差点の現場テントを激励訪問。

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑦ 稲葉千岬

議会改革特別委員会の会議を傍聴して感じたのは、今の社会の見方として政治家はお金を湯水のように使っていると思われがちですが、政治家は私たちが思っているよりずっと、お金の使い方に細かくルールをつけている、ということでした。

例えば、政務活動費の使い道に関して、分割して支払う携帯電話・スマートフォンの購入費用を通信運搬費に含めることについてを上げると、2台持ちは駄目など数に限りをつけるのか、いやはや数に限りをつけるのではなく値段で限りをつけるのか、WiFiについてはどうするのか、などとても細かく例を挙げ話し合っていたのが印象的でした。（*吉田注：、議員の論議で最終決定まで行います）

また、傍聴している他の人たちを見ると、皆さんそれぞれノートでメモをとり、時には議員の意見に唸ってみたり、大きくうなずいてみたり、非常に自分たちの地域の政治に熱心であると感じました。しかし、傍聴しているほとんどの人が年配の方で若い人はとても少数でした。私たち若い世代はもっと地域の政治に興味を持つ必要があると感じました。

会議終了
後に撮影



昭和女子大学3年生 稲葉 千岬(第36期)

研修レポート⑤ 石井優希

本日は、市議会の議員一般質問（議員が議会の本会議で自由なテーマを質問するもの）のヒアリングに立ち会った後、パワーポイント資料の作成を行いました。



昭和女子大学3年生 石井 優希(第36期)

今回私たち（同期研修生の稲葉さんと合同）が作成するのは、自分たちの活動を写真付きで振り返る、インターンシップの総まとめとなるようなパワーポイントです。

作成にあたって、先輩インターン生の作品を見せて頂きましたが、まだパワーポイントが出始めて間もない頃に作られたにも関わらず、その完成度は非常に高く、驚きました。効果音やアニメーションなど、「機能は知っているが使いこなせない」ものが上手く使われており、メリハリのある作品に仕上がっていました。1ページあたりの文章量も適当であり、内容もすっと頭に入りました。

今やプレゼンテーションといえばパワーポイント資料、というまでにパワーポイントは学校やビジネスの場に広く浸透しましたが、第三者の目を意識した効果的な情報発信について今一度考えつつ作品を作成していきたいと思います。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)